

令和5年12月

## 令和5年度信州リハビリテーション専門学校 学校自己評価報告について

学校法人 松樹学園  
信州リハビリテーション専門学校  
学校評価委員会

学校法人松樹学園信州リハビリテーション専門学校では、学校法人並びに専門学校が果たすべき社会的責任に対して学校自己評価を実施致しました。これは学校教育法の規定に基づき、教育活動その他学校運営を組織的、継続的に確認すると共に、より良い学校運営と家庭、地域との連携協力を得ながら、開かれた学校作りを目指すことを目的とし、教職員が学校の理念・目標に照らして自ら教育活動について行う評価です。昨年度より「全国専門学校教育研究会による共通の評価モデル2022」を基に実施しました。また、今年度も、併せて「学生による授業アンケート」、「学生アンケート」及び「保護者アンケート」の他自己評価を実施し確認をしました。

評価は、46項目を4段階（4：良く取り組んでいる、3：まあまあ取り組んでいる、2：あまり取り組めていない、1：全く取り組めていない）で自己評価しました。平均評価値は3.70（昨年度3.72）となり、昨年度とほぼ同等でした。また、学生による授業アンケートは満足度に対して5段階評価（5：そう思う、4：ややそう思う、3：どちらともいえない、2：あまりそう思わない、1：そう思わない）で行い、評価5（満足）と4（やや満足）の合計回答率が95.5%（昨年度95.4%）でした。学生アンケートと保護者アンケートは自己評価と同様の4段階評価で行い、4・3の割合はそれぞれ90.6%（昨年度86.1%）、96.5%（昨年96.4%）でした。概ね良好な結果が得られたと判断しますが、自由記載ではご指摘をいただきました。

結果から自らを振り返り、本校と教職員各自の発展につながるよう努めてまいります。

## 教育方針

理学療法士として、基礎医学による人体の構造と仕組みに関する知識、臨床医学による系統別機能障害と疾病の回復過程に関する知識、専門科目と臨床実習による評価・治療体系に関する知識と技術をそれぞれ有機的に関連付けていくと共に、自己学習とグループ学習を中心として、学生が主体的に学んでいくという姿勢を育成し、免許取得をめざす。

## 教育目標

- ① 優しい心を持つ豊かな人間性とマナーや接遇を含めた深い教養を持ち、医療・保健・福祉や地域と社会に貢献できる人材を育成する。
- ② 関連職種との良好なチームワークを構築するためのコミュニケーション能力を身に付け、チームでの役割と責任を果たせる人材を育成する。
- ③ 理学療法に必要な基礎医学・臨床医学の知識と基本的技術を身に付け、高い思考力により幅広い分野で問題を解決することができる人材を育成する。

## II. 学校自己評価 評価対象項目別評価結果及び改善方法

評価の基準を右の表に示します。

対象は信州リハビリテーション専門学校  
教職員 11 名（昨年 11 名）です。

《評価基準》	4ー良く取り組んでいる
	3ーまあまあ取り組んでいる
	2ーあまり取り組めていない
	1ーまったく取り組めていない

### 1 教育理念・目標・育成人材像等

上段：今年  
下段：昨年

	評価対象項目	評価結果（平均）	
1	理念・目標・育成人材像は定められているか	3.91 3.91	3.73 3.82
2	特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.91 3.91	
3	社会のニーズ等を踏まえた学校に将来構想を抱いているか	3.36 3.64	

#### 《自己評価結果及び分析》

- ・病院から求められる人材育成の為、理念に沿って取り組んでおり、継続されると良い。
- ・1、2 では、学校説明会やホームページ、パンフレット、保護者懇談会など、内外に向けて伝える事ができている。

#### 《改善方法》

- ・服装規定の見直しがされたように、今後も現状や社会の情勢に合わせ改革を検討していく。

上段：今年  
下段：昨年

## 2 学校運営

	評価対象項目	評価結果と平均	
4	運営方針は定められているか	3.82	3.71 3.67
		3.73	
5	事業計画は定められているか	4.00	
		3.91	
6	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、有効に機能しているか	3.82	
		3.82	
7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3.55	
		3.45	
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.36	
		3.45	

### 《自己評価結果及び分析》

- ・教員個々が授業評価の結果を反映し、必要に応じて改善できている。
- ・WiFi環境の拡大、ペーパーレス化など、業務効率や簡略化が進んできている。

### 《改善方法》

- ・オンライン上で学生とやり取りできるシステムが導入されると良い。
- ・実技試験の評価用紙からiPadの使用など、見直していくようにする。
- ・8では、システム化の理解を深め、業務の見直しをする必要がある。
- ・学籍管理やサーバーなどは優先的に新規変更されると良い。

上段：今年  
下段：昨年

## 3 教育活動

	評価対象項目	評価結果と平均	
9	教育目標、育成人材像は、求められる資格及び業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3.91	3.79 3.77
		4.00	
10	教育機関としての修業年限に応じた教育達成レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.91	
		3.82	
11	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.82	
		3.91	
12	教育課程に関連する業界・関係施設等の外部の意見を反映しているか	3.55	
		3.64	
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	4.00	
		3.91	
14	教育目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.82	
		3.45	
15	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.00	
		3.91	
16	資格取得の指導体制はあるか	3.91	
		4.00	

17	教職員の専門的知識・技能等を修得・向上のための組織的な取り組みは行われているか	3.18	
		3.18	

《自己評価結果及び分析》

- ・良好である。
- ・17では、業務改善や広報などの研修参加が促されている。参加予算は確保されているが、業務で時間が取れない現状もある。

《改善方法》

- ・17では、全員揃える時間を確保し、短時間でも伝達講習会や勉強会などを開けると良い。

上段：今年  
下段：昨年

#### 4 教育成果

	評価対象項目	評価結果と平均		
18	就職率の向上が図られているか	3.91	3.58	
		3.73		
19	資格取得率の向上が図られているか	4.00		3.52
		3.91		
20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.82		
		2.91		

《自己評価結果及び分析》

- ・3年生の就職活動の動き出しが早く、結果も出ている。
- ・2年生からの校内ガイダンス参加としたことが、意識付けとなっているのではないかな。
- ・就職率の向上（特に県内）は、卒業生の評判なども良い方向につながっているのではないかな。
- ・国家試験合格率が100%だったことは素晴らしく、外部へのアピールにもなる。

《改善方法》

- ・継続して結果が出せるために、分析と工夫が必要である。
- ・20では、教職員が得た情報を共有する方法（共有ページの作成など）を検討する。
- ・今後、在校生の社会活動機会が増えてくるのではないかな。担任を中心に把握していく。
- ・同窓会活動が活発になってきているため、今後は在校生と接する機会をつくる。

上段：今年  
下段：昨年

#### 5 学生支援

	評価対象項目	評価結果と平均		
21	就職・進学指導に関する体制が整備され、有効に機能しているか	3.82	3.55	
		3.82		
22	退学率の低減が図られているか	3.82		3.58
		3.82		
23	学生相談に関する体制が整備され、有効に機能しているか	3.73		
		4.00		

24	学生の経済的側面への支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	3.82 3.73	
25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3.55 3.82	
26	課外活動に対する支援体制が整備され、有効に機能しているか	2.73 2.91	
27	学生の生活環境への支援は行われているか	3.27 3.27	
28	保護者と適切に連携しているか	3.82 4.00	
29	卒業生への支援体制はあるか	3.36 2.82	

《自己評価結果及び分析》

- ・近年、退学者が減少してきている。
- ・奨学金、修学支援新制度など、学生への周知、指導はできている。
- ・保護者への連絡は適宜行っている。
- ・29の向上は、同窓会活動への援助が進んだことと関連しているのではないか。
- ・週一日だが、パンの販売がされるようになったことは、学生支援になっているのではないか。
- ・自動販売機の変更がされ、わずかだが食品が増えた。
- ・実習施設訪問に行けたことで、学生支援ができたことは良かった。

《改善方法》

- ・パン以外の販売も継続して模索していく。
- ・26、29では、どのような支援の方法やニーズがあるのか調査把握する。
- ・在校生の活動（スポーツ、ボランティア等）を、学校通信やSNSで取り上げる。

6 教育環境

上段：今年  
下段：昨年

	評価対象項目	評価結果と平均	
30	施設・設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備されているか	3.27 3.36	
31	施設実習等について十分な教育体制を整備しているか	3.82 4.00	3.61 3.67
32	防災に対する体制は整備されているか	3.73 3.64	

《自己評価結果及び分析》

- ・30では、学生用PCの処理が遅く不調である。課題作成等に不利益が生じ、学生からも要請があがっている。
- ・スクリーン設置、WiFi増設、1クラス分ではあるが椅子の入れ替えができた。
- ・照明をLEDに変更し、省エネのためにも整備が進んだ。

《改善方法》

- ・30では、PCを段階的に入れ替えていくか、アップグレード対策をすすめる。
- ・31では、実習施設が増えてきたが、県内施設を多く確保するよう教員が動く必要がある。
- ・教育機器や備品の買い替えが必要となってきた。リストを作成し計画的な更新を申請していく。

上段：今年  
下段：昨年

7 学生募集と受入れ

	評価対象項目	評価結果と平均	
33	学生募集活動は、適正に行われているか	4.00 3.91	3.84 3.89
34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.91 3.91	
35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3.73 3.91	
36	学納金は妥当なものとなっているか	3.73 3.82	

《自己評価結果及び分析》

- ・良好であり熱心に取り組んでいる。
- ・学校説明会への参加者は、昨年度より少なかった。
- ・学校説明会の参加回数での内容を変えた。また、入試説明を詳細にしたことで、出願書類の不備が少なくなった。

《改善方法》

- ・募集活動は興味を示してくれるアプローチを取り入れ継続して力を注ぐ。
- ・ホームページの見直しやガイダンス等での学校説明会への誘導方法など検討していく。

上段：今年  
下段：昨年

8 財務

	評価対象項目	評価結果と平均	
37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.64 3.82	3.77 3.89
38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.82 3.82	
39	財務について会計監査が適正に行われているか	3.82 4.00	
40	財務情報公開の体制整備はできているか	3.82 3.91	

《自己評価結果及び分析》

- ・良好な結果である。
- ・予算内でできるよう、全員が意識して取り組んでいる。

《改善方法》

- ・計画的に予算立てをすることを継続していきたい。

上段：今年  
下段：昨年

## 9 法令等の遵守

	評価対象項目	評価結果と平均	
41	法令、設置基準等を遵守し適正な運営がなされているか	3.91 3.91	3.93 3.98
42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.82 4.00	
43	自己評価を実施し問題点の改善に努めているか	4.00 4.00	
44	自己評価結果を公開しているか	4.00 4.00	

《自己評価結果及び分析》

- ・法令等、適正に運営されており、良好である。

《改善方法》

- ・継続していく。

上段：今年  
下段：昨年

## 10 社会貢献

	評価対象項目	評価結果と平均	
45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.55 3.55	3.55
46	学生ボランティア活動を奨励し、支援しているか	3.55 3.55	3.55

《自己評価結果及び分析》

- ・授業と夏季休暇でのボランティアを通して、社会貢献の意義を感じた学生も多いのではないかと。個人でボランティアを行った学生もあり、支援という意味でも貢献できたと思う。
- ・出張講座では、理学療法士と本校を知っていただく良い機会となっており、45にも当てはまる。
- ・4年ぶりに檜翔祭と地区文化祭が開催できることは、地域へも良い影響があるのではないかと。

《改善方法》

- ・継続していく。
- ・募集しているボランティアを学生バナーに掲示するなどして、学外からも見えるようにする。